

地域づくり活動 NPO 事業助成（先導的・先駆的）事業 実績報告

団体名	認定特定非営利活動法人 コミュニティ・サポートセンター神戸	代表者名	中村 順子
事業名	協働型社会的価値の創造		

事業実施実績

年 月 日	活 動 内 容
2014年5月9日（金）	"研究会テーマ検討会： 於、CS 神戸 CS 神戸&コムサロン 21 にて 2014 年度の CSR 関係事業の展望を討議
2014年8月8日（金） 13:30～15:30	第一回研究会： 於、CS 神戸 研究会の目的、プロセス、目標等の確認
2014年8月19日 （火）10:00～12:00	第二回研究会： 大和リース（株）本社 目的：先進事例 "大和リースのまちスポモデル" の検証インタビュー 面会者：代表取締役社長、常務（流通建築リース事業部長・海外事業戦略室長）、民間活力研究所担当役員
2014年9月19日 （金）10:00～12:00	第三回研究会： 於、CS 神戸 大和リースのまちスポの事業モデルの確認/すり合わせ （「まちスポ高山」、「まちスポ稲毛」、「まちスポ茅ヶ崎」&「まちスポ神戸」）
2014年11月28日 （金）16:00～18:00	第四回研究会： 神姫バス本社訪問 ～大和リースのまちスポ神戸のビジネスモデルの紹介 & 神姫バスの CSR 活動の概況ヒアリング
2015年1月22日 （木）10:00～12:30	第五回研究会： 於、CS 神戸 ～報告書作成内容などの検討・確認"
2015年3月5日（木） 13:30～16:30	企業と NPO の協働による地域づくりフォーラム： 於、ボランティアプラザ セミナー室 ～研究会報告書・提言をもとに、企業と NPO の協働による CSV 活動成立のお互いの条件を合同討議

効果と成果

企業が環境問題や貧困・教育問題などに取り組むことで社会的な課題を解決するといういわゆる従来型の社会貢献活動だけではなく、積極的なCSR活動を通じて、事業収入の向上やブランド価値の向上といった経済的価値を創造し、しかも環境や貧困問題の解決、あるいは地域づくりや居場所づくりといった社会的価値をも創造するという共通価値の創造（Creating Shared Value：CSV）という新たな概念が近年生み出され事例が紹介されるようになり、企業とNPO法人における連携・協働活動は、新たなステージに入っている。この新たなCSR活動としてのCSV型の連携・協働のあり方やそのためにNPOに求められる要件が、企業とNPO法人との実際の事例から考察して報告書にまとめられた。

基本的要件として、①連絡のとれる事務局・活動拠点がある、②地域での活動実績、歴史がある、③法人情報をHPやパンフレットなどを使って発信している。そして、重要な要件として、①他のNPO法人からの高い評価と紹介、②歴史がある、③認定NPO法人（地域からの信頼力、活動実績、連携案の提示能力、企業のコンプライアンス）、④担当者の人柄・企業への対応力、⑤ミッションと活動内容の一致、⑥数度のミーティングへの対応力（連携・協働活動案の提示能力、信用力）が挙げられている。

収支決算書

(収入)

項 目	金額(円)
地域づくり活動NPO事業助成金	500,000
自己資金	17,368
合 計	517,368

(支出)

区分	項 目	金額(円)	左のうち助成対象金額(円)
直接経費	謝金	228,928	228,928
	広告宣伝費	106,070	88,702
	交通費	5,500	5,500
	人件費	126,000	126,000
	小 計	466,498	449,130
間接経費(一般管理費)		50,870	50,870
合 計		517,368	500,000